



機関誌 第20号

自民石川

自由民主党
石川県支部連合会
組織広報本部

金沢市鞍月5-255
TEL 076(237)0911(代表)
FAX 076(237)0915
<http://www.hokuriku-web.jp/jf-isikw/>

”決戦執行部“が船出

自民党石川県連はこのほど定例大会を開き、岡田直樹会長、
紐野義昭幹事長をはじめとする新執行部を選出しました。日
本混迷の元凶となっている民主党政権を倒し、国民の手に安
心と安全を取り戻すために、次期総選挙と来年の参議院選挙
に向けた運動の本格化を申し合わせました。

期待を絶望に変えた 民主党政権を許さず



定例大会では、政権の奪還に向
けた組織の再構築や人材育成を重
点とする活動方針を可決。石川県
内の地域支部の党員数が11年ぶり
に増加に転じる中で、新たに「石

川政経塾」を設置、党員、無党
派層を問わず政治に関心を持つ人
材を塾生として募集し、国づくり
やふるさとづくりの担い手として育
てていくことを新たに盛り込みまし
た。

一方、県への政策要望とな
る重点政策では、北陸新幹線
金沢開業に備えた取り組みや
東日本大震災を踏まえた防災
対策、経済・雇用対策の充実
と強化などを満場一致で可決
しました。

大会の冒頭、岡田会長は、
「決戦執行部」として迫り来
る総選挙で勝ち、来年の参院
選に優れた候補者を擁立し、
必ず議席を奪取したい」と呼
びかけ、議事に続いて民主党
から政権を奪還するとした決
議を採択しました。この後、
森喜朗、馳浩、北村茂男の各
代議士があいさつをし、谷本
正憲知事、山野之義金沢市
長、増江啓公明党県本部代
表が順に祝辞を述べました。

ご挨拶

会長 岡田 直樹



2期連続で県連会長を拝命し、重責に身の引き締まる思いです。危機的状況にある今の日本を無責任極まる民主党政権に任せるとはできません。ふるさと石川のためにも森、馳、北村代議士の勝利と参院選での議席奪還を成し遂げ、生まれ変わった自民党の力で県民のご期待にこたえる覚悟です。

幹事長 紐野 義昭



暮らしと政治をいつも身近に結びつけ、「家庭の中の率直な声を県政に届ける」ことが私に与えられた仕事です。地域の発展はもちろん、街づくりや中小企業対策、教育・スポーツ・音楽・国際交流、さらには福祉・環境問題等、多くの課題に向かって、力一杯前進したいと思います。

【新執行部の顔ぶれ(敬称略)】

- ▽県連会長 岡田直樹▽副会長 福村章、稲村建男、向出勉、澁谷弘利(産業界代表)、吉田久美子(看護連盟)、米川久美子(女性局)▽幹事長 紐野義昭▽総務会長 石田忠夫▽同副会長 宮下正博、徳野光春、大口英夫▽政調会長 藤井義弘▽同副会長 西田昭二、善田善彦、不破大仁▽幹事長代理 宮元陸▽組織広報本部長 中村勲▽同本部長 山口彦衛、焼田宏明、井出敏朗▽党紀委員長 木本利夫▽同副委員長 下沢佳充▽財務局長 吉崎吉規▽同副局長 平蔵豊志▽議員協議会長 和田内幸三▽同副会長 山田省悟▽地方議員連絡協議会長 米田昭夫▽同副会長 安居知世▽市町村組織対策局長 焼田宏明▽職域・団体対策局長 山口彦衛▽労政局長 徳野光春▽広報局長 井出敏朗▽遊説局長 大口英夫▽青年局長 高岩勝人▽青年部長 不破大仁▽女性局長 米川久美子

組織広報本部長 中村 勲



「常に原点を忘れず謙虚に」をモットーに、時代の大きな変革期の中で、地方から国民主体の新しい政治を再構築してまいります。

幹事長代理 宮元 陸



政党は思想と理念で形作られることを今一度、確認し、希望ある社会の実現を自民党としてしっかり果たしてまいります。

政調会長 藤井 義弘



行政の作る原案が県民の思いになっているか、県民のためになるか、有識者の意見を聞く機会を持ち、調査・研究をしていきます。

総務会長 石田 忠夫



地域の特性を最大限に活かすとともに、南北に長い県土を持つ石川県の均整ある発展と県民の幸福のため汗を流します。

日本の政治 どうなってるの？

県内在住の女性6名と
安居知世議員が語り合う。

バラ色のマニフェストを掲げて政権に就いた民主党。しかし、期待は失望に変わり、国民は不安や不満を募らせています。混迷を極める政治について、石川県議会唯一の女性議員である安居知世さんと県内在住の女性6人が話し合いました。

子育て・少子化

児童手当をもらっても
子育て世帯は増税に！

瀧野 ●政権交代後、民主党の看板政策だった「子ども手当」で子育て世帯は経済的に楽になるのかと思っていたのですが、全然実感がありません。

安居 ●そうですね。子ども手当は財源が確保できず、スタート時から半額支給でしたから、実感が無いのは無理ありません。現在の児童手当にしても、財源を捻出するために廃止された年少扶養控除を早急に復活させなければならぬと思います。この控除がなくなったことで、児童手当を受け取ったとしても、おおむね年収489万円以上の子育て世帯では実質的に手取り額が減ってしまっています。

瀧野 ●えっ、それは知りませんでした。これでは、子育て支援どころか、子育て世帯を狙い打ちにした増税ですよね。日本の将来を考えれば、少しでも出生率を上げなければならぬのに、逆効果ではないでしょうか。

安居 ●その通りです。ですから、自民党では年少扶養控除の復活を呼びかけています。児童手当の財源確保は今なお××が立っていませんから、まだまだ迷走は続きそうです。

河原 ●もっと安心して子育てできるような環境を作っていくですね。

安居 ●やはり民主党のよう



主婦・金沢市在住
杉本 和美さん

な財源の裏付けのないバラマキ政策では無理がありません。現在、民主党が進めようとしている幼保一体化にしても、待機児童の多い都市圏はともかく、地方にどうしてメリットがあるのか疑問です。

河原 ●石川県の場合、幼稚園や保育所の待機児童はいないようですし、むしろ放課後児童クラブの充実を優先してほしいとの声もあります。それに、子育てが一段落したお母さんの再就職支援も重要ではないでしょうか。

浅田 ●子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、地域におけるスポーツ環境の整備にも取り組んでほしいと思います。

安居 ●同感です。都市圏と地方では抱えている問題も違います。ですから、自民党では地域が独自に使い道を決められる「子育て交付金」を創設して、放課後児童クラブの拡充や子育てママの職業復帰支援、育児休業手当の拡充など、それぞれの地域の実情に応じた子育て支援を実現できるように提案しています。また、スポーツ環境の向上は子どもたちはもちろん、幅広い年齢の方の健康づくりに役立つとともに、人と人とのつながりを深めるものでもありますから、自民党としても精一杯、応援してまいります。

年金・医療

まじめに働いても
もらえる年金は少なく！

杉本 ●老後のマネープランの柱は公的年

女性パワーで 今こそ政治を変えるぞいね

公約違反常習の
民主党に任せとられん！

で年金制度への信頼が揺らいでしまいました。自民党では皆さんが安心して暮らせる年金制度を維持するために最善を尽くします。ですから民主党はマニフェストに固執するのではなく、

現行の保険方式を基本に、厚生年金と共済年金の一元化や無年金対策など、必要な是正について議論すべきです。

太島 ●年を重ねれば、病気になったり、介護を受けたりすることもあります。医療や介護についても、誰もが安心して暮らせる仕組みを作っていくと思っております。

安居 ●そうですね。医療に携わる人材を確保して、産科や小児科、救急医療などを充実させる必要がありますし、待機者の多い特別養護老人ホームは、すぐにも入れる環境整備が待たなす。

生活・地域

選挙では実現可能な
マニフェストを！

河原 ●家計を守る立場で言えば、ガソリン価格の高騰や電気料金の

値上げも気になります。

安居 ●ガソリン税の暫定税率撤廃も民主党のマニフェストでしたが、実行されませんでした。さらに、ガソリンや灯油、電気料金などの値上げにつながる地球温暖化対策税(環境税)の導入を決めるなど、国民の税負担はますます重くなります。地方での生活に車は欠かせませんし、家庭や中小企業にとってエネルギー代の高騰は深刻な問題です。「国民の生活が第一」と言っていた民主党のスローガンは、どこへ行ったのでしょうか。

市川 ●マニフェストは政権公約であり、国民との約束ですよ。できることはできる。「できないことはできない」とは、さびしい言い回しではないかと私たちも選びよつがありません。

浅田 ●できないことまでマニフェストに書いて国民の期待を裏切った民主党の罪は重いと思います。今回の選挙では、民主党も自民党も実現可能なマニフェストを掲げて国民に審判を受けてほしいですね。



元銀行員・津幡町在住
太島ひとみさん

安居 ●おこころの通りです。

私たち自民党議員も政治不信を払拭するため、反省すべき点は反省し、任せて安心と思ってもらえる党を目指して全力を尽くします。

市川 ●日本を元気にするためにには地域の再生が不可欠です。温泉や食文化など、石川県には観光資源がたくさんありますから、観光振興にも力を入れてほしいと思います。

太島 ●景気・雇用対策も重要です。特に能登では景気の低迷に加え、建設業界の談合事件で地域経済が一層冷え込んでいると聞きます。一方で、県に違約金の軽減を求めて働きかけるなどして奥能登の救済に取り組んでくれた自民党はやっぱり頼りになるといつ声もあちこちで聞きます。みんなが生き生きと働ける景気・雇用対策をぜひ、提案してほしいと思います。

安居 ●ありがとうございます。皆さんの声を大切に、これからもご期待に応えられるよう自民党一同が一致団結して、頑張っていくつもりです。



スポーツクラブインストラクター
能美市在住
浅田 雅子さん



泥がぶらぬ
ドジョウ総理

政権のたらい回しを続ける民主党。9月の党代表選で、「国民の目くらしにまた代表の首をすげ変えるのでは」と、うがつむきさえある。解散・総選挙で信を問うのが、それほど怖いのか。そうだとしたら、「国民の生活が第一」の看板は「自分の生活が第一」に変えるべきだ。

「正心誠意」はかけらも見えない。発言は総じて場当たりの、矛盾を突かれると、恥も外聞もなくさっと身をひるがえす。「つかみ所のないドジョウ総理」では、本家のドジョウも泣くというもの。メッキも剥がれてきて、このところの支持率は低空飛行が続いている。「宇宙人」「イラ菅」「ドジョウ」と

column

「自分の生活が第一」の民主党は退場を！！

ドジョウ総理。国民は最初、野田首相に泥臭くても着実に実績を積み上げる姿を連想した。しかし、現実はずれた。不見識極まりない素人大臣を乱造し、問責決議を受けた人数ははや4人。その度に連発する「責任を感じます」「お詫び申し上げます」はまるで他人事のように、モットーと胸を張る

瀧野 ●このままでは、私たちが年をとるころには年金なんてもらえないと思ってる人も大勢います。



寿司店女将・加賀市在住
市川 勝美さん

杉本 ●そんな制度は、とても現実的とは思えません。それに、消費税を増税するのなら、国会議員自らが人員削減や歳費カットに取り組むなどして、痛みを分かち合う姿勢を見せなければ、国民の理解は到底得られません。

安居 ●民主党は消費税を財源の中心に据え、最低保障年金7万円を掲げています。確かに税でまかなえば未納問題はなくなりませんが、さらに7.1%も消費税を引き上げなければなりません。それに、まじめに働いているほとんどの人が受給できる年金額が今よりも減ってしまう、制度の移行には40年かかると言われています。

党員募集について
自民党石川県連では、平成24年度の党員を募集しています。入党希望の方は所在地の地域支部、職域支部を通じてお申し込みください。

党費(年間)	一般党員 4,000円 家族党員 2,000円
--------	----------------------------

『りぶる』を愛読してみませんか
公党で唯一の女性政党誌を購読してみませんか。
購読希望の方は自民党石川県連までお申し込み下さい。
【発行月1回 年間購読料 3,600円】

次期総選挙・自民党立候補予定者の横顔

石川3区 北村しげお



豊かな暮らしと夢のある故郷へ

地域に活力を取り戻すためには、早急に大胆な景気対策が必要です。また、TPP交渉への参加は、戦後築いてきた日本社会を崩壊させかねず、断固反対です。国家と国益を考える真の政治を取り戻し、豊かな暮らしと夢のある故郷の未来に向けて、全力を尽くしてまいりたいと覚悟です。

プロフィール

昭和20年(1945)生まれ。輪島高、明治大卒。国会議員秘書を経て、同50年(1975)、県議会議員初当選(輪島市選挙区)、県議会議長。平成17年(2005)、衆議院議員初当選、以来2期。現在、自民党国会対策副委員長、自民党シャドウキャビネット内閣府副大臣(防災担当)、自民党国土交通部会・農林部会副部会長、衆議院国土交通委員

石川2区 森 喜朗



今、国民生活の危機を救うために

国民を欺瞞し続けるマニフェストを掲げて、日本を壊してしまった民主党政権の一日も早い退陣。資源のない日本が世界に雄飛するには、叡智(えいち)があって我慢強く、他人の痛みが分かって助け合える、そんな尊敬すべき人間力を持つ、高邁(こうまい)にして正義のための政治の復活です。辛酸(しんさん)をなめて成長した自民党を中心とする、オール日本の力を結集した政権を目指します。

プロフィール

昭和12年(1937)生まれ。金沢二水高、早稲田大卒。新聞記者、国会議員秘書を経て、同44年(1969)、衆議院議員初当選、以来14期。文部、通産、建設の各大臣、党政調会長、総務会長、幹事長などを歴任し、平成12年(2000)、内閣総理大臣に就任

石川1区 はせ 浩



「金沢らしさ」に磨きをかける

金沢には、歴史や文化、産業を踏まえた「金沢らしさ」があり、それを醸すのが私たち一市民の人間力だと思います。デフレ脱却、景気対策、持続可能な社会保障制度の確立とともに、公正で競争力のある社会、頑張る人が報われ、人と人が支え合う国、ふるさと金沢のために努力を重ねます。

プロフィール

昭和36年(1961)生まれ。千坂小、鳴和中、星稜高、専修大文学部卒。星稜高校教諭時代にロス五輪に出場、元プロレスラー。平成7年(1995)、参議院議員初当選、同12年(2000)、衆議院議員初当選、以来4期。文部科学副大臣、現在、衆議院文部科学委員会筆頭理事

いま作り直さねば、日本の未来は危ない

「石川政経塾」に集え！
平成の志士よ

未来がバラ色とは言わないまでも、日本再生に向けた青写真が示され、痛みを伴いながらもそれに向かつて確かな歩を刻んでいくのでしょうか。

民主党が政権を担って3年近くが過ぎましたが、その答えはノーです。むしろ日を追うごとに政治の混迷は深まり、国の経済と国民の生活がその犠牲となつて無惨な事態を引き起こしています。

このままでいいはずがありません。国民が怒りの声を上げると同時に、自らの手で日本を建て直していく。危機感をあおるつもりは毛頭ありませんが、そんな気概と行動がないと、瀬戸際に立つてしまった今の日本を救うことはできないと思います。

石川政経塾が6月10日に開講しました。塾は政治家の養成や党勢の拡大だけが目的ではありません。「日本を再建し、石川を元気あるふるさとにする！そんな志を持った人を一人でも多く育てる」とのやむにやまれない気持ちからです。今後、2カ月に1回程度のペースで政治家や経済人、学識者らを講師とする公開講座を開くとともに、さらに突っ込んだ質疑応答などで勉強を深



開塾式で講師を務めた小泉進次郎・党青年局長と

める特別講座を計画しています。塾生は随時募集で、自民党籍の有無は全く問いません。「今の政治なんて」と切り捨てるのは簡単ですが、それでは何も変わりません。

歴史を振り返ってみてください。江戸幕府を倒し維新の扉を開く原動力となつたのは、新しい国づくりに燃える名もなき志士たちでした。志を持った人間が集まり真剣に物事に立ち向かえば、想像を絶する巨大なエネルギーが生まれる何よりの証拠です。

ぜひ、あなたにも新しい日本、元気なふるさとを建設する主役になつていただきたいと思います。石川政経塾への入塾を心からお待ちしております。

石川政経塾塾長 岡田直樹

●お問い合わせ

自民党石川県連事務局
076(237)0911